

BPW News Letter JAPAN

Official Newsletter of National Federation of Business and Professional Women's Club of JAPAN



2005.9.1

Vol.83

【特集】
BPW International
Jubilee Congress

CONTENTS

巻頭メッセージ
新しいロゴ決定！
日本連合会コンgress代表団

コンgress報告

- ・ BPWI 会長メッセージ
- ・ プログラム
- ・ 決議案討議結果
- ・ 決議案 # 15 のゆくえ
- ・ オープニングセレモニー
- ・ Gala Dinner
- ・ 役員立候補の体験談
- ・ フェアウェル・パーティー・クルージング
- ・ 規約改正案討議結果
- ・ BPWI 新役員

事務局から

編集後記

BPWI の新しいロゴ決定！～日本からの決議案可決～

日本 BPW 連合会代表団

代表/黒崎伸子・布柴靖枝・平松昌子・二ノ宮寛子

代表代理/栗林英子・出村和子・菊田(猿渡)英代子・栗山有香子

1930 年、BPW 国際連合会の第 1 回大会がスイス・ジュネーブで開催され、6 カ国から 136 名の女性が集まり、IFBPW が結成されました。1989 年を経て、今度で 3 回目のスイスでのコンgress開催でした。75 年目という記念すべきコンgress、“Jubilee Congress”という張り紙が、ルツェルンの街のあちこちに見られました。商店街のショーウィンドーの中にまで・・・。

そして、私たち BPW 日本連合会にとっても記念すべきコンgressでした。これまで 3 つの大会で 4 決議案を提案しました。今回は、日本が見えていない BPWI のロゴの変更を提案しました。それが、決議案 # 1 に採用され、連休明けに、BPWI 役員で決議案委員会担当の Ann Swain から具体的なロゴ案を提出するようとの連絡があり、二ノ宮ヤング委員長と佐藤・布柴両副会長の協力で、BPWI 加盟国が全て入った図案を提案しました。

仕事の都合で参加が危ぶまれた二ノ宮ヤング委員長は週末を利用して、6 月 19 日朝に会場に着きました。決議文案の作成者であり、BPWI ヤング委員長に立候補したこともあり、提案理由説明を壇上で行いました。その堂々としたスピーチに、海外のメンバーはきれいな英語を褒め、日本でもヤングが育っていることを証明できました。もちろん、この決議案は賛成 100・反対 13・棄権 4 で可決されました。

「私の国も文字に隠れていたの！」「これでロゴに私の国も入るわ」と他の国々から声をかけられ、メキシコ会長にはロゴのデータをメールで送る約束をしました。そうです！私たちの提案したロゴが世界中でこれから使われるのです。まず、一番に日本の会員のみなさんにこれを伝えたいと思いながら、書いています。

次期コンgressの 2008 年に日本 BPW 連合会は創立 50 周年を迎えます。ここまで私たちに道を開いて下さった先輩たちに感謝し、そして、次の世代を育てるという私たちの責任を感じながら、私たちは帰路につきました。私たちを日本で支えて下さったみなさんへ感謝しながら、コンgressの報告をお伝えします。



新ロゴ案を発表する二ノ宮ヤング委員長(右下の姿が、スクリーンに大きく映写される)

日本BPW連合会ニュースレター

発行人：黒崎伸子 広報委員会編集

日本 BPW 連合会 事務局

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 3-5-12-116

TEL.03-3348-7644

FAX.03-3348-7648

E-mail=info@bpw-japan.com

ホームページ URL

http://www.bpw-japan.com

第 25 回 BPWI コンgress (BPWI 創立 75 周年記念)

25th International Congress "Jubilee Congress" 75th Anniversary of BPW International
 テーマ: **New Dimensions of Leadership** 2005 年 6 月 17 日(金) ~ 20 日(月) 於: スイス ルツェルン市
 key word: 1. "リーダーシップ"...リーダーシップの新しい側面
 2. ネットワーキング"...狙いを定めたネットワークと経験やアイデアを共有する方法
 3. "BPWI の組織強化"...BPW ネットワークの有効な発達

New Triennium: "New Dimensions of Leadership"

Chonchanok Viravan (Nok)
 BPW International President 2005-2008

The XXV BPW International Jubilee Congress in Luzern, Switzerland on 17-20 June 2005 was attended by more than 1,000 members from about 60 countries. This Congress owed much of its success to the dedication and hard work of Immediate Past President Antoinette Ruegg, the strong Switzerland Host Planning Committee and the help of over 200 volunteers from the Swiss Federation. Besides electing a new International Executive Board and the Chairs of Standing Committees, this Congress also passed several resolutions that will have a profound impact on the future of BPW International.

I would like to take this opportunity to thank all BPW members for electing me as your new International President and electing a new Executive Board which I have found to be flexible, innovative and very dedicated.

We have 2 new energetic Vice Presidents Dr. Annarosa Colangelo, 1st Vice President from Italy and Elizabeth Benham, 2nd Vice President from New York, U.S.A. The vision of Past President Rosmarie Michel, "Youth Today, Leaders Tomorrow" has been realized in this Board as current and/or former Young BPW constitute a third of the Board taking on the positions of International President, Executive Secretary, Finance Director and Young BPW Representative. Together with our 5 new Regional Coordinators, the new

International Executive Board comprises a harmonious blend of generations of BPW from all regions.

In this post-congress issue of the newsletter, I present a brief summary of key decisions made at Congress, including election results, resolutions passed, constitution amendments, award winners, congress venues, new affiliates. One of the key

Congress decisions is the change in membership dues, the dues will increase from 7.5 Euro (5 GBP) to 10.5 Euro (7 GBP) in 2006, but the dues can be reduced to half for low income countries (given that certain conditions are met). This change will provide necessary resources for us to improve value-added benefits and services for members.

This issue also presents a tentative calendar of events for 2005-2008. Almost all Regional Conferences have been intentionally scheduled to spread out in different quarters over the next three years. Note that photographs from Congress will be available for viewing and downloaded from www.bpw-international.org soon.

As we begin the new triennium under the theme "New Dimensions of Leadership", I would like to thank the outgoing Executive Board which tackled and resolved several difficult issues in the last triennium, especially the financial ones. On behalf of the new Executive Board, I would like to pledge our commitment to lay a new foundation for BPW to foster its growth, influence and its capability to develop professional and leadership potential for women for decades to come.

***** プ ロ グ ラ ム *****

17 日(金)

9:00-11:00 リージョナルミーティング
 12:00-13:30 BPW 評議会
 14:00-15:30 ワークショップ: 決議案・規約改正案に関する討議
 17:30-19:30 オープニングセレモニー
 19:30-21:30 会長夕食会

18 日(土)

9:00-10:00 パネルディスカッション「組織でのリーダーの役割」
 10:00-12:30 ビジネスセッション
 11:00-12:30 リーダーシップセッション
 12:30-13:30 BPW ワークショップ
 12:30-13:30 ネットワーキング「ポリティシャンズラン」
 14:00-15:00 パネルディスカッション「企業におけるリーダーシップ」(世界女性銀行預取他)
 15:00-17:30 ビジネスセッション
 15:30-17:00 ポストパネルディスカッション
 16:00-18:00 サイドイベント「ムバク国際女性平和運動 WIPM/Women International Peace Movement」
 19:00-22:00 ガラ・晩餐会

19 日(日)

9:00-10:00 パネルディスカッション「ヤング BPW」
 10:00-12:30 ビジネスセッション
 11:00-12:30 ポストパネルディスカッション
 12:30-13:30 ネットワーカーズランチ (CEDAW メンバー参加のランチ)/ヤング BPW ランチ
 BPW ワークショップ
 14:00-15:00 パネルディスカッション「国連」
 15:00-17:30 ビジネスセッション
 15:30-17:00 ポストパネルディスカッション
 18:00 ~ 深夜 BPWI 友の会(フレンド)行事

20 日(月)

9:00-9:45 パネルディスカッション「リーダーシップと emotional intelligence」(世界女性銀行預取ほか)
 9:45-10:00 フィードバック「パネルやワークショップのまとめ」
 10:00-12:30 ビジネスセッション
 11:00-12:30 リーダーシップセッション「若いビジネスリーダーの証言」
 14:00-16:00 ビジネスセッション
 16:00-18:00 評議会
 19:00- 21:00 20 周年パーティー

今後の開催 2008 年 10 月: メキシコ Merida
 2011 年: フィンランド

決議案討議結果

速報(詳細は会報に掲載します)

決議案 / 提案者(下段は決議案の主旨)	日本	最終結果
決議案 1「BPW ロゴの再考:5つの地域や国が均等に見えるものにする」 提案:日本	賛成	可決
ロゴは全世界のBPW会員のシンボルであり、そのためには世界の5つの地域と所属する人々が納得するロゴが必要である。		
決議案 2「イタリア語を公用語に」 提案:イタリア	反対	可決
BPWイタリアの会員数はBPWI 全会員の3割強にあたり、公用語としてイタリア語を指定し、通訳などの手配をする。		
決議案 3「 kongress の運営」 提案:イタリア・オランダ・スイス	賛成	可決
kongress の赤字がBPWI の通常支出に影響しないような施策を展開する。 2部に分けて採決:		
決議案 4「組織の見直しと資金調達の方策」 提案:イタリア・オランダ・スイス	賛成	可決
財政や人材の問題を鑑み、組織が有効に機能するための見直しを行い、事務所設立・有給スタッフなどを考慮。		
決議案 5「女性と貧困」 提案:Dianne Glenn(アジアパシフィック・リージョナル・コーディネーター)	賛成	修正可決
北京行動綱領にも基づき、女性と貧困の問題を解決するためのプログラム実施・資金援助などを各国政府に要求する。		
決議案 6「紛争後の平等な参加と資金提供」 提案:オランダ	賛成	可決
紛争後の経済・地域復興・平和維持への女性の参加を促進する 1325 議案の実行と北京行動要領の遵守を求める。		
決議案 7「平和維持・再構築と女性の国連安全保障理事会におけるジェンダー・メインストリーミング」 提案:オランダ	賛成	可決
国連安全保障理事会 1325 議案にも基づき、早急に平和維持や交渉のプロセスへの女性の平等な参加を求める。		
決議案 8「BPW カナダ・アフガニスタンにおける女性の政治的権利拡大」 提案:カナダ・アフガニスタン	棄権	可決
アフガニスタンは未だに不安定なため、女性の権利を確立し、保障できる民主的な政府の選出を支持する。		
決議案 9「地雷」 提案:ニュージーランド	賛成	可決
対人地雷禁止条約への署名を求め、ジェンダーの視点に基づいた情報提供や被害者支援を行うことを求める。		
決議案 10「外傷後ストレス症候群 PTSD」 提案:アルゼンチン	賛成	可決
PTSD で苦しむ人々への的確な治療や支援を行うとともに、PTSD を周知させて、治療に至るようにする。		
決議案 11 会費引き上げの提案 提案:Dr.Antoinette Ruegg(BPWI 会長)、M.Rohner(BPWI 会計)、L.Benham(BPW ニューヨーク会長)	2ポンド値上に賛成	修正可決 2GBPup
1996 年以来 BPWI 財務情勢は下降し、前 2 回の kongress 後はさらに顕著。支出を大幅に削減しても、有給職員への支払いさえ不十分で、恥ずべき搾取である。今後の活動の質を維持するには会費値上げが必要である。		
決議案 12「性差別とエイズ」 提案:ニュージーランド	賛成	可決
HIV/AIDS 感染者の半数以上が女性で、新たな感染患者の半数を占める 15~24 歳の 2/3 が女兒である。社会的、経済的な女性のハンディも考慮し、ジェンダーを意識したエイズ予防・教育・治療などの立案が望まれる。		
決議案 13「女性移民労働者の搾取」 提案:ニュージーランド	賛成	修正可決
女性移民労働者は差別・搾取・虐待などのリスクが非常に高く、その権利を法的に保護する必要がある。		
決議案 14「水と衛生問題におけるリーダーシップ」 提案:環境委員長・オランダ	棄権	可決
総合的な水資源運用のために、居住環境・水・衛生問題についての各種の政策や行動計画の実行をめざす。		
決議案 15「女性の法廷(東京裁判=東京トリビュナル/Tokyo Tribunal):国際戦争犯罪の犠牲者としての女性に関して」 提案:カナダ	反対	15.1 と 15.2 に分け 両方とも可決
(内容詳細は後記を参照のこと)		
緊急動議「次回 kongress の開催地をメキシコから韓国へ移す」提案:BPWI 役員会	賛成	否決
提案理由:メキシコ BPW の内紛、準備状況の不明確さ等を理由に BPWI 役員会から緊急動議が出された。		

決議案 # 15 をめぐって

平松昌子前会長/代表(東京クラブ)

今回の kongress での注目は、国際連合会会計に関する諸問題と 次回 kongress の開催地を巡る緊急決議案でした。は、前回のメルボルン・kongress が大赤字となり、ロンドンのBPW本部ビル売却による会計不明瞭が重なって、さらに会費収入の減少というつらい現実に、会員の多数を抱えるヨーロッパ vs パット前会長の激論と

いう場面が生まれました。このことが、さらに、次回 kongress の準備状況がはっきりしないメキシコ連合会に業を煮やした本部役員会が、開催地の変更を提案するに至ったものです。

メキシコは猛烈な巻き返し運動を展開し、決議案採決の結果、メキシコで決まりました。また、メルボルン・kongress 会計報告を巡る激論も、議長の裁きで終わりました。

ところで、決議案 # 15 とは、BPW カナダが提出した「所謂慰安婦に関する決議」です。カナダの提案には「女

性の法廷(東京トリビュナル) = 国際戦争犯罪の犠牲者としての女性(The Women's Tribunal: Women as Victims of International War Crimes) とのタイトルがついており、「慰安婦という表現」を避けているものの、「慰安婦問題に対する日本政府の即時対応を、しかも東京トリビュナルの判決に従って、即時実施するよう求める」ものとなっています。

もう少し詳しく言うと、当初の決議案では、

BPWI 役員会としては、

・東京トリビュナルの判決第146 - 8条の即時実施を日本政府が優先事項として即時実施するよう、国連などを通じて影響力を行使すること

・他の国際的な女性組織、或いはアムネスティのような組織を通して一層の実施を求めること

加盟団体としては、

・東京トリビュナルの判決(提案)を実現するために、アムネスティを含む他の女性団体との連携を図りながらそれぞれの政府を通して働きかけること

・一般の認識を高めるために、慰安婦制度等について教育その他の場面を通して推進すること、及び現代或いは将来にわたって女性の性的暴力防止に勤めること

という内容でした。

これに対して、最終的に採択に付された決議案は以下の2項目に分割して、採決されることになりました。

1) 全ての加盟団体は、国連などを通して、日本政府に対し、東京トリビュナルの判決第143 - 152条(特に146 - 148条)に記された条項を、現在及び将来にわたって同様の事項再発を防ぐために、遵守するよう要請していくこと

2) 全ての加盟国は、女性の性的暴力が、理由の如何に関わらず武力紛争化において戦争犯罪を構成するものであること、またそれがいつどこで起きようとも、現代の紛争を含めて犯罪であり、有罪とされるべき事を、認識し同時に公の認識を得るよう努力すること

そして結論は、2項とも採決に付され採択されました。

1) は、賛成70 反対47 棄権 7

2) は、賛成101 反対23 棄権7

カナダ提出の慰安婦に関する決議案は、バンクーバーでのカナダ kongress (1999) の時に初めて対決する形で姿を見せました。慰安婦問題がどうというより、日本BPW連合会としては、直接日本に関係のある決議案を

日本BPW連合会に事前協議もなしに抜き打ちに提案することは、倫理上の問題として認めがたい、ということであり、更に、慰安婦問題の日本政府の処理に関してカナダの現状認識と理解には誤りがある、ということが主張の骨子でした。

これに対して、BPW国際連合会は、双方の主張の隔たりを調整すべく、仲介にNZのダイアン・グレン他のメンバーをたて、折衝を行い、カナダは原案を取り下げ、次回に新たな決議案を出すことで妥協が図られたことは、すでにご報告の通りです。

メルボルン・kongress (2002) では、日本・カナダ・アルゼンチンの共同提案の形で、新提案が行われました。

そして、今度です。日本の主張は

ロビー活動を含め日本政府を対象とした決議案を出す以上、日本と協議するのが筋ではないか。

東京トリビュナルに対する評価を日本BPWが議決していないものであり、この判決?に基づく決議に同意することは出来ない。(そのために事前協議が必要)

慰安婦問題の政府(?)対応について、日本国内で非常に意見が分かれている問題であり、日本BPWとして国内での合意を取り付けることは難しい

この議題は既に提出されたもので、同一議題を再提出しないというルールから見て疑問がある。

等でした。

この決議案が送付されて以来、連合会会長は決議案担当BPWI役員やカナダ会長などの折衝を行いました。が、現状を変えることはできず、スイスにおいて、日本BPWは、上記の主張を機会を利用してはキーパーソンに訴え、話し合いました。アントワネット会長、イベット元会長(議事運営責任者 = 議事の進行に問題が生じた際判定する)、ノック副会長、ダイアン・アジア太平洋地域コーディネーター、カナダ会長、韓国代表団等々。

2項に分離することはパット元会長の前審議での発言が発端でした。ダイアンは、決議案は、バンクーバーでカナダが提出した決議案と同種の内容であるとして、採決せずに持ち込もうとか、殆どの方々が日本の立場に理解と協力を示して下さいました。しかし、どの点をどのように強調するかなど、代表団内部で十分な現地協議が出来ず、採決の段階で態度に混乱が生じたことなどに痛恨の反省点が残ってしまったことは残念です。

kongress参加者一覧 (敬称略 計 20名)

仙台/布柴靖枝、出村和子、猿渡英代子
東京/平松昌子、二ノ宮寛子、栗林英子
高山典子、木村ひろ子
高岡日出子

武蔵野/大森澄子
関東/豊田キヨ子
山梨/深沢公子
名古屋/木下弓子

愛知/加藤たえ子、市野志奈子
大阪/田中多津子、藤井揚子
和歌山/栗山有香子
長崎/黒崎伸子、鶴田雅子

Congress Report

オープニングセレモニー

「HAPPY BIRTHDAY, BPW INTERNATIONAL」

菊田英代子/代表代理(仙台クラブ)

第25回BPWI kongressのオープニングセレモニー(18:30～)は、大会初日、ルツェルンの湖の畔にある Art and Culture Center(KKL)で夕方から開催されました。夕方といっても、ヨーロッパは夜の9時を過ぎても明るく、川沿いのカフェでは多くの人がお話をしたり、散歩をしたり、くつろぐ姿が多く見られました。

参加者は、約1000人前後で(約60カ国)、鮮やかな伝統衣装を身にまとった方など、とても華やかな雰囲気でした。セレモニーの前まで、登録を済ませたり、各決議案及び規約改正案に関するワークショップで熱く議論したりしていたメンバーとはまた違った一面を見たようでした。

セレモニーは、第25回BPWI kongressの開催宣言と共に、BPWI 創立75周年を記念したファンファーレとともに始まり、会場の中は、厳かな中にも熱気であふれていました。はじめに、ウェルカムメッセージとして、アントワネット会長、市長、スイスBPW会長がお話をされました。そして次に、1930年 Lena Madesin Phillipsと16カ国168人によってこの組織が作られてから今年で75周年を迎えた事など、これまでのBPWIの歴史を振り返りました。特に1980年の50周年もスイスで行われたとのことで会長は感慨もひとしおだったようです。「HAPPY BIRTHDAY, BPW INTERNATIONAL!!」このフレーズは、この記念すべきkongressを一層盛り上げました。

今回のkongressのテーマは、「New Dimensions of Leadership - リーダーシップの新しい側面 - 」として、今後、私たちがどのようなリーダーシップの役割を取っていくのか、また、どのようなリーダーシップの能力が求められているのかパネルディスカッションが行われました。パネリストには、スイスのネスル最高経営者、世界女性銀行頭取(N.Y)等世界のトップリーダーのお話を伺うことができました。このような国際会議ならではの貴重な体験は、私にとって大きな刺激となりました。

後半は、スイスのオペラで活躍している男女の美しい歌声にうっとりしながら(時差ボケなのか?)時を過ごしました。オープニングセレモニーが終わったのは、21:00頃でした。buffet形式の夕食に皆で舌鼓を打ちながら(私は、正直、お腹も空いていたので凄く勢いで)頂きました。

私は、今回が初めての参加で、毎日が緊張の連続でした。しかも、空港に自分のトランクが届かないというトラブルが発生し(3日遅れで届きました)、困っている私に素早く対応して下さい、必要なものは無いかと洋服や化粧品まで...。「大丈夫?」と声をかけてくださる皆様の優しさをとてもうれしく感じ、このサポート力に感謝しました。

このように今回のkongressは、私にとって忘れられない大きな経験になりました。



ガラ・ディナー: 民族衣装のBPW スイス会員と(右から2人目は平松前会長)

晩餐会

Gala Dinner

栗山 有香子/代表代理(和歌山クラブ)

スイスkongress参加を決心してBPW Internationalのホームページで日程を確認していると、6月18日は、19:00から「Gala Dinner」となっていました。「Gala」ってなんだろう、早速辞書を引きました。「Gala」(形容詞) お祭り(騒ぎ)の、特別な催しの、派手な、愉快的とありました。うーん、特別な晩餐会? 愉快的晩餐会? ...つまりウエルカムパーティと勝手に解釈して、ホームページをもっと見ていくと、衣装のページでは、ガラディナーには、National or Evening dress(Long or short)となっています。National dress えっ! じゃあ...着物?

着物は荷物も大変だし着付けもへただから、と悩んだ末今持っているワンピースにストールなどでアクセントをつけられたいか。と思いワンピースをトランクに詰めました。

さあ、6月18日Gala Dinner当日です。バスに乗って「メッセ」という会場に着きました。ルツェルン駅から15分くらいの郊外にある体育館のような広い会場でした。「席は自由です。」ということで、私たち日本から参加した4人の会員が10人がけテーブルにフランス、ドイツの会員と同席しました。

出席者は、チマチョゴリ、ハイジのような衣装、アフリカの民族衣装、イブニングドレス等、大変カラフルできれいな国際色いっぱいの服装で会場全体が華やかで私の心も高揚し、わくわくしていました。

「どこからきたの?」「日本の夏ってどんな感じ?」「日本のkongressに参加したことがあるわよ」と会話が弾みます。「約15年前日本の会社にいたことがあるよ」「じゃあ日本語べらべらですね。」「それが全然駄目なのよ」など旅行会話や英会話スクールでは経験できない異文化コミュニケーションを楽しみました。音楽やご挨拶等もあり、食事が進み、参加者同士お互い席も自由に行き通うようになったころ、私の前のフランス女性が「ちょっと失礼」と席をはずしました。彼女が席にもどって「ドイツの友人と明日夕食を一緒にすることを話していたのよ」と席を中座した理由を、さりげなく話してくれた心配りがうれしかったです。

「あなたの趣味はなんですか?」「お休みの日の過ごし方は?」とか、もっといろいろな話をしたかったのですが、その場にいると何を話して良いのかとささの言葉が出てきませんでした。

世界の人が集まる会議や、パーティーに参加し、終日英語

漬けの生活をする初めての経験で、国際性、社交性が必要だと痛感しました。

また、日本をアピールするためには、何か仕掛けが必要です。本格的な着物だと着付けとか荷物とか考えてしまいますが「ゆかた」にすればと思いました。「ゆかた」だと柄、色ともに豊富で他国に負けないカラフルな民族衣装だし、次回参加する機会があるなら、「ゆかた」を着ることにチャレンジしようと思っています。今回 kongress に参加したことは、大変いい勉強になりました。kongress に参加しようか、もし、迷っている人があれば、私は「参加する方がいいよ」とアドバイスします。

私にとって楽しく愉快で特別な、まさに「GALA」な晩餐会でした。



第1回 CSW インターン関谷さんと友人黒崎会長(左端)、出村元会長(右端)

役員立候補の体験談

30 時間のスイス滞在

二ノ宮 寛子ヤング委員長/代表(東京クラ)

チューリッヒ空港に到着したのは kongress 2 日目の土曜の早朝でした。直前になって仕事の都合で滞在が短くなってしまい、私に許された時間は現地であったの 30 時間でした。短いながらも私にとっての初めての kongress は大変盛りだくさんで充実したものとなりました。

kongress の準備と流れの把握

国内での kongress 準備委員会副委員長という大役を仰せつかり、昨年度からの準備から微力ながら関わりました。会員として 5 年目となり、メルボルン kongress もあったというのに kongress について全く把握していなかったので、準備を随分前から各国単位で行っていることを初めて知りました。また BPWI からのショートノティス(締切の直前に文書が到着したりする)の連絡に機敏に反応しなければいけないことも知りました。特に決議案や立候補の手続きには直接関わったため、背景にある BPWI との連絡の取り方なども勉強になりました。

決議案 1 (ロゴ改定案) の可決

滞在時間が短くなったため、間に合わない場合は黒崎会長にお願いすることにしていた日本提案の決議案 1 の趣旨説明もタイミングよくできることになり、2 分の時間をもらって説明と賛同を呼びかけました。数百名入る大きな会場で注目されるなか、カメラで大写しになった自分の顔と同時通訳(仏西)の様子を想像しながらの説明は随分緊張しましたが、反対意見もなく、100 票以上の賛成票を集め、可決されました。このスピーチが決議案の最初だったため他国の代表団や傍聴者の印象に残ったらしく、随分たくさんの方に後で声をかけていただきました。

立候補と選挙運動

今回の kongress で、BPWI のヤング委員長に立候補しました。残念ながら投票の結果、I での実績もあり私の友人でもあるパキスタンの Rooma Para が選ばれました。

立候補は、写真や立候補の理由を記載したエッセーなどを昨年末に本部へ送付し、表明していました。実際の kongress の場では、日本の代表団の名刺の裏に私への投票をお願いするメッセージを付けたものや A4 で作成したプロフィールなどを書いた選挙ちらしを配布し、実際に手渡ししながら握手をしたり話をしたりしました。その際に感じたことは、それぞれがしっかりと誰を応援しているのかを表明することでした。応援してくれる人はその場で 'I support you. (あなたを応援しています。)' と声をかけてくれるし、また他の人を応援している人はその旨教えてくれました。選挙運動の時に応援を表明してくれた会員がたくさんいて、随分嬉しく感じました。今回はたくさんの方に応援してもらったにも関わらず良い結果が出せず残念でしたが、この経験を通じてたくさんの方に顔を知ってもらい、私のこれからの活動の力になったと思います。

ヤング会員の交流

kongress では、通常会員のイベントと同時並行でヤングの企画が進んでいました。全世界から 65 名集まったヤング会員向けにワークショップやパネルディスカッションなどのほかに、初日の金曜には 'Get To Know Lunch (ヤングだけの交流用ランチ)'、土曜にはガーラ・ディナーの後(なんと夜 11 時から!)に 'Girls' Night Out (ディスコで踊ったり飲んだりしながら交流)' などの交流企画もありました。短い滞在でしたが私も土曜のナイトアウトには参加することができ、参加した約 30 名と楽しい夜(ほとんど朝ですが)を過ごしました。

ネットワーキングの再確認

各国の会員との交流は、なんと到着直後の空港から始まりました。焦る気持ちと緊張を抑えながら空港内の BPWI 専用ウェルカムデスクに会議場までの電車の切符を受け取りに行くと、そこでオーストラリアのメルボルンの元会長と出会い、ルツェルンまで一緒に電車で向かうことになり、約 2 時間、初対面の彼女と BPW やキャリアについて話をし、少しリラックスして到着しました。ホテルでスーツに着替えて現地へ向かうと、東京でのリージョナル会議の際にお会いしたバングラデシュの女性やロー

マ大会で会ったパキスタンのヤング会員と会い、再会を喜びました。会議場に入ると今度は日本代表団に暖かく迎えられ、空港からの出会いの連続ですっかり緊張がほぐれた状態でセッションに臨むことができました。

その夜のガーラ・パーティでは、以前日本旅行の相談に乗ったドイツのヤング会員や、来日の際に交流したイギリスの会員の方、そしてヤングのローマ大会で出会った世界中のヤング会員達とも会うことができました。今まで会ったことのあった人達とは交流を深め合い、そして初対面の人達とは新しいネットワークを作ることができました。コンGRESSに参加していた日本の会員の皆さんも同じように世界中の会員達と交流している姿を見、「BPW のネットワーキング」が実際に機能しているということを実感しました。

初のコンGRESS参加は以上の 5 点の収穫がありました。日本の代表団をはじめ、日本の会員の皆様に支えられて大きな経験ができたと思っています。コンGRESSでの経験を踏まえて日本での活動に活かしていきたいと思っています。そして次のメキシココンGRESSはもっと長く、そして他の日本のヤング会員と一緒に参加できることを願っています。

お別れ会 クルージング

平松昌子前会長/代表(東京クラブ)

祭りの後、宴の後、いつも寂しさと感動がつきまとうけれど、今回は、私個人にとって、心に残るものとなった。

スイスの美しい湖をクルージングしながら、別れを惜しむ。数艘の船に分譲して、それぞれの会話を楽しんだはず。夕暮れといっても白夜のスイスのこと。7時。8時はまだまだ夕方の明るさで、湖岸の景色は美しく、用意された料理も、適量で適当な美味。(日本人にとって西欧特にアメリカの食事は分量といい、その味といい、些かと言うことが多いのだが)テーブルに自由に座って、私は空席を探していたら、元会長のシルビア・ペリー姉御に手招きされて、8人ほどの高齢者会員と同じテーブルに。あんな話、こんな話、ワインは白でなければいけないとか、赤がよいとか・・・写真はデジタルがいいとか、どうだとか。イタリア/ベニス・コンGRESSは初体験だったので夢中だったが、4回目ともなれば顔なじみも増え、あれこれ日常の話を日常の雰囲気の中で出来るようになった。今回、カナダともオーストラリアとも違った何かを感じたとすれば、この会がヨーロッパの人々の交際の輪を中心に作り上げられているのだと言うことを否応なく感じてしまった。

船の旅は予定通り8時半過ぎには未だ明るさの残る桟橋に到着、ここでそれぞれの船から下りてきた一同をシャンペンが待ち受けていた。手に手に、シャンペングラスをもって名残惜しげな会話が続き、会議中出会わなかったオランダのラシャに後ろから抱きつかれた。彼女



左から高山前会計、平松前会長、栗林事務局長、オーストリアメンバー

とは南アフリカのヨハネスブルグで開かれた環境サミットで一緒になった。彼女のバイタリティーに押されて、日本政府へのロビイングも行った。パリから駆けつけた関谷さんも含めて、これからの環境問題へ議論が進んだ。ふと気づくと、桟橋を埋めていた会員もそれぞれホテルへ帰り、数人が残るのみとなった。

アントワネット会長は会長としての役目が終わり、2～3人の地元会員と話をしていた。「You did good and wonderful job! We, BPW Japan ...あなたのアドバイスで、国連のインターンシップを立ち上げることが出来たという事、このヒントを提供して下さったこととても評価しています。ただ、決議案で日本の提出したロゴマークの改正が認められたことはうれしいけど、慰安婦問題で私たちの本当の気持ちを十分理解してもらえなかったことが残念だった・・・」と話してハグ。

でも、最後にグレン・アジア太平洋地域コーディネーターとは、お別れのハグをしながら双方で涙をにじませた。「慰安婦では本当にお世話になりました」と手をさしのべたのに対して「十分な成果を残せなかったこと、残念に思うけど、今度の事を通して、私たちは心を語り合える友達になったと思う」と長い時間、抱き合いました。彼女にとってもこのコンGRESSは、副会長のポストを得られなくて寂しさもあったのではないかな。

祭りの後は、様々な思いが残るものです。



ルツェルン湖(対岸では数名の男性がホルンを奏で歓迎)

主な規約改正(詳細は会報掲載予定)

規約改正案1(役員会の構成において、リージョナルコーディネーターとヤングBPWを常任委員会からはずす)が最初に否決され、それに関連する改正案2~4はすべて取り下げられた。

規約改正案5(会長オフィスと公式連絡先の決定権を会長のみではなく事務局長を含む委員会で決める)

規約改正案6、7(事務局長を含む委員会で決める)

規約改正案8、10 取り下げ

規約改正案9(5000名以上の会員を有する場合は、25%会費を減額する。)はBPWイタリア提案であったが、イタリア語を公用語にするという決議案が認められたので、BPWイタリアが自ら取り下げた。

規約改正案11 修正可決(BPWIの支出が収入を上回らないようにする。予算建てをしていない追加支出は、評議会の大多数の承認を得ることとする)

○規約改正案12 修正可決(常任委員会と協力して、Batterseaビルディングの売却で得た費用は、別建ての費用として会計処理する。年間予算や kongress の赤字、又役員会の大多数の承認を得ていない他の目的に使用するものに、補填流用しない、但しすでに流用された分は今後の kongress 利益で補填する)

○規約改正案13 取り下げ

編集後記

6月の kongress 報告号の発行が、こんなに遅くなってしまったのは、ひとえに広報担当の私の個人的事情でした。夏前に原稿をいただきました kongress 代表及び代表代理の皆様、そして発行をお待たせいたしました会員の皆様にお詫びいたします。また、掲載予定だった常任委員会からの報告・ブロック研究会ご案内も時期がずれてしまい、割愛させていただきましたことを重ねてお詫び申し上げます。(佐藤)

BPW International 新役員・常任委員長等

会長	Chonchanok Viravann	タイ
第一副会長	Annarosa Colangelo	イタリア
第二副会長	Elizabeth Benham	NY・USA
書記	Freda Miriklis	オーストラリア
会計	Thitinan Wattanavekin	タイ
地域コーディネーター		
アフリカ地域	Amany Asfour	エジプト(カイロ)
アジア・太平洋地域	Ambica Shresthra	ネパール
ヨーロッパ地域	Gabriella Canonica	スイス
ラテンアメリカ地域	Maria Ines Garcia Bunning	ブラジル
北米・カリビアン地域	Monica Burgess McNeil	St.Andrews ジャマイカ
ヤング BPW		
	Rooma Para	パキスタン
常任委員会		
農業	Sandra Queroz	ブラジル
芸術・文化	Carla Michelli	イタリア
商業・貿易・技術	Paola Corsini	イタリア
開発・訓練・雇用	Marta Susana Solimano	アルゼンチン
環境・持続可能な開発	Yara Blochtein	ブラジル
健康	Faye Gardiner	ニュージーランド
規約	Kellie Tranter	オーストラリア
企画	Susan Jones	オーストラリア
広報	Yasmin Darwich	NY・USA



BPW 新役員たち(中央左が、アントワネット BPW 前会長、その右がノック BPW 新会長の)

事務局から

ジェンダー平等で平和な社会をめざす - 2005 年 NGO 日本女性大会

11月26日(土)10:00~16:00 於:千代田公会堂

あらゆる領域の女性団体が、実質的な男女平等の実現を目指して「国際婦人年連絡会」を結成して30年。NGO活動を前進させるために開催されます。多数のご参加をお待ちしています。

2006年3月に開催されるCSWインターン募集に6名の応募がありました。チラシの配布、それぞれ心当たりの学生への呼びかけなど、BPW各クラブのご協力を感謝します。結果は後日報告します。